

水害に備え真剣な大規模訓練を実施



集中豪雨などに備える水防訓練が、七月三日に桃ノ木川竹橋下流で実施。十機関から、五百人以上が参加し、水防工法などを行いました。水難救助では河川に流された人や転落車両を想定し、ヘリコプターやボート、潜水隊が出動。本番さながらの状況で真剣に取り組みました。

ま え ば し
シテイ
フラッシュ
ジュ



6月28日、文化財をバスで巡る「文化財探訪」が行われ、39人が参加。4カ所を見学しました。端気町の善勝寺では、国指定重要文化財の鉄造阿弥陀如来坐像を見物。参加者はやさしい指、なだらかな体の線の美しさに言葉も出ないほど。鉄造仏の逸品を真剣に見入っていました。

美しい文化財に息のむ

原爆展 で講話なども



総合福祉会館を会場に開催している「長崎原爆被災展」で、七月二日・三日に被爆体験講話が行われました。原爆投下の様子を語る講師の話から、戦争の悲惨さや命の大切さが伝わり、思わず目頭を押さえる人も。写真や被災物品の展示は十七日までです。

温暖化防止を 市民の力で

本市は、昨年の環境都市宣言を契機に、市民の皆さんとともに、地球環境に優しいさまざまな取り組みを行っています。

そのような中で、地球温暖化の原因とされる「酸化炭素の削減を目指す全国活動「CO₂ダイット宣言」がある」と聞き、早速、これに協力したいと名乗りを上げました。

市はこの宣言で、地球温暖化防止に取り組んでいく姿勢を示し、その成果を期待したいと思っています。

市民の皆さんが温暖化に関心を持ち、自らができることは自らが実践する。大きな市民の力で宣言運動に参加したいと思えます。(六月二十三日、定例記者会見にて)

